



発 南 第 881号
平成20年11月6日

国土交通省道路局長 様

鳥取県西伯郡南部町法勝寺377-1
南部町
町長 坂本 昭文



今後の道路行政についての意見・提案について(回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標題の件について別紙のとおり
回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

鳥取県南部町

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

本町は県西部に位置し西端は島根県に接している農山村地域である。町民の通勤通学は勿論のこと日常の買い物に至るまで全ての移動方法は鉄道が無いことから道路に頼っている現状である。

このことから地方における道路行政は地域の活性化にとってなくてはならない重要な政策であります。これまで交通量により必要性を判断され、なかなか2車線歩道付きの町道改良が認められず不便を感じながらの通行を余儀なくされていた。財政規模の小さい自治体は特定財源を原資に最低限の改築工事を実施してきたが09年度から道路特定財源が一般財源化することにより道路予算の編成が困難となることは必須であり、地方の道路整備が確実に行われるよう、道路整備の財源が確実に確保される制度の早期制定を望むものである。また、日本海側の高速自動車道の整備は国家の戦略的事業として位置づけ国の責任と財源において早期に完成されるよう要望する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

鳥取県南部町

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

過疎化の進行

少子・高齢化が進む中、道路整備や情報の格差、生活交通や福祉、医療の確保に対する不安感や就業条件に対する不満が一層過疎化に拍車をかけている。

○課題

◇人口減少に歯止めをかける

定住化の促進・職場の確保→ 企業誘致

◇地域の自立と連携→地域経済の活性化・地域の活力 地域自治組織の充実、農家経営の安定化

◇道路及び付帯施設の健全維持

急激に増加する老朽橋梁や舗装修繕の財源確保

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

鳥取県南部町

南部町の将来ビジョン 持続継続して発展する南部町の確立

- ◇人づくり 次世代を担う人づくり 幼児期から正しい教育の実践
- ◇地域づくり 活動を始めた地域振興協議会の更なる発展 住民と行政の協働の実践
- ◇福祉と医療の充実 老人福祉を始め各種福祉と自治体病院の継続的发展
- ◇農林業の振興 農家の経営の安定 特産林産物の振興 山林の整備

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

鳥取県南部町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
高速道路のネットワーク	山陰道の早期全線開通	進出企業の促進 ネットワークの構築により生活圏の拡大	
生活や通学 安心安全な道路整備	町道天萬寺内線の共用 町道入蔵線の共用	通園児の安全確保と通行車両の利便性向上 地域住民の生活全体の利便性の向上	